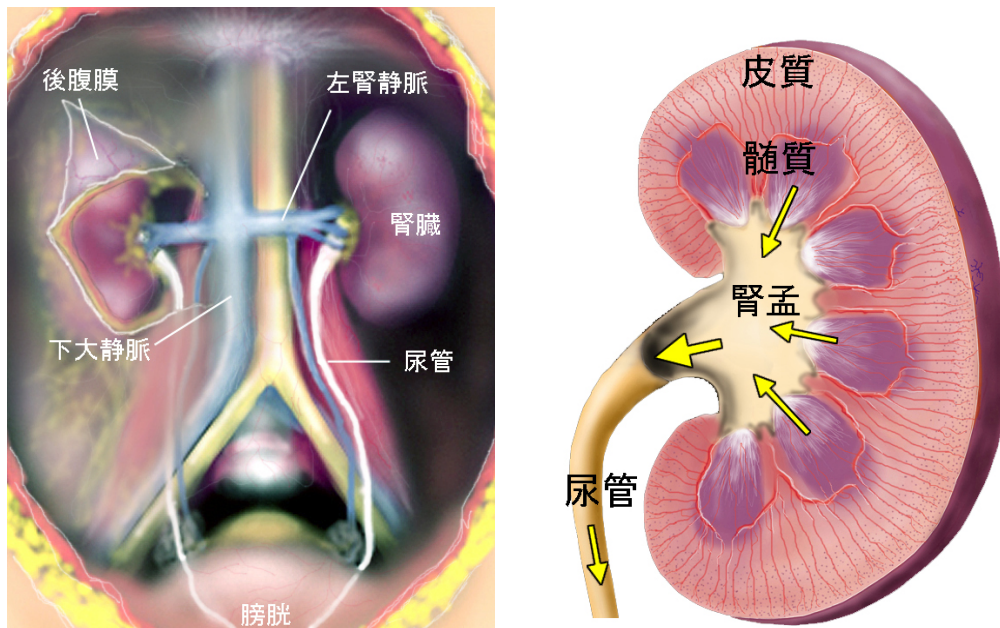


腎 臓



- 1) 腎臓は後腹膜下器官である。
腹腔の脊柱の左右に 1 対ある臓器ですが、腹腔内にはなく腹腔壁の後ろにある臓器です。これを**後腹膜下器官（別名は腹膜後器官）**と呼びます。左図では後腹膜を剥離した状態ですが、実際は脂肪組織が多く、腎臓自体も脂肪組織に包まれています。右腎臓は左腎臓より下に位置します。
- 2) 腎臓の構造
腎臓は皮質と髄質に分かれます。皮質には血漿をろ過する腎小体（糸球体とボーマン囊からなる）が片側の腎臓で約 100 万個あるといわれています。髄質は血漿中の有用な成分を尿細管で再吸収するところです。腎盂は不要な尿が集まる場所で、尿管に尿を送り出し、尿管はさらに膀胱に尿を送ります。
- 3) 腎臓の働き
腎臓の重要な働きは、①**体液浸透圧の維持**、②**血圧の維持**、③**酸塩基の平衡**、④**老廃物の排出**です。左右の腎臓には 1 分間に心拍出量の 20% 約 10 の動脈血が流れます。血液を腎糸球体でろ過して、有用な成分と不要な成分をより分けて、有用な成分は全て回収されます。このろ過する場所が腎皮質にある腎小体です。腎小体にはろ過装置として糸球体があり、血液中の血球やタンパクを除いた血漿成分がろ過されます。これを原尿と呼び、続く尿細管で身体に必要な水、アミノ酸、グルコース、電解質などが再吸収されます。1 日でろ過される量は 170ℓ に達し、その 99.5% が再吸収されて、残りが不要な尿となって 1 日約 1.5 リットルが排出されます。